

## 各分野の目標達成状況＜Ⅱ 健康、福祉分野＞

### 柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

#### ◆主な取り組み

##### 【個別目標①】 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

(市民)

- ・地域包括支援センターが介護予防事業対象者宅を訪問し、事業への参加を促し、介護予防事業に参加しました。
- ・市や地域包括支援センターに設けられた相談窓口で、介護サービスの利用について相談しました。

(市役所)

- ・地域包括支援センターの訪問をスムーズにするため訪問前に介護予防対象者へ文書を発送し事業のPRをしました。
- ・介護サービスの利用促進を図り、ガイドブックの送付や広報に利用案内を掲載しました。

##### 【個別目標②】 高齢者が在宅で安心して暮らしている

(市民)

- ・生活支援・ヘルパー派遣等、介護支援・訪問理髪等、独居老人の支援・給食サービスから、市民が必要なサービスを申請し、安心して在宅生活ができました。
- ・緊急通報装置等を設置することにより、急病、事故等の緊急時に円滑な救助又は援助を受け、日常生活の安全確保と不安の解消ができました。

(市役所)

- ・生活支援・ヘルパー派遣等、介護支援・訪問理髪等、独居老人の支援・給食サービスを実施しました。
- ・緊急通報装置、給食サービス等で見守りを行い、独居老人の緊急時に消防本部、地域包括支援センター等と連携して対処しました。

##### 【個別目標③】 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

(市民)

- ・高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして生きがいのある充実した生活を送れるように各種事業に参加しました。
- ・生きがいをもって働きたいと思う高齢者は、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、諸事業に就労する機会が得られました。

(市役所)

- ・高齢者が親睦を深めたり地域活動に積極的に参加したり生きがいのある充実した生活

## Ⅱ 健康、福祉分野

を送ってもらうために老人クラブ事業を支援し補助金を交付しました。

- ・高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するために、シルバー人材センターへの補助金を交付しました。
- ・会員一人一人が、働く意欲のある高齢者にチラシ等による勧誘活動や、機関紙、広報等でPRに努めましたが、シルバー人材センターの登録者数は目標を下回りました。

### ◆主な成果

- ・地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業などの実施及び相談窓口の充実を図ることができたこと。(柱1 高齢者福祉)

### ◆主な今後の課題

- ・高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、時代に即した活動支援を行う必要があること。(柱1 高齢者福祉)

## 柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり

### ◆主な取り組み

#### 【個別目標①】働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています

(市民)

- ・家庭で保育できない保護者は、保育園の入園申請をしました。
- ・家庭で保育できない保護者は、学童保育の利用申請をしました。

(市役所)

- ・保育園の入園希望に添って、保育士の雇用、保育環境の整備を図りました。
- ・学童保育の待機児童解消のため、施設整備を行い、実施定員を増やしました。
- ・指定管理者制度を導入し、効率的な運営と保育サービスの充実を図りました。

#### 【個別目標②】家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくなっています

(市民)

- ・子育て中の保護者は、子育て支援センターの育児相談を利用したり、子育て教室に積極的に参加するなど知識の習得に努めました。
- ・地域等で児童虐待やネグレクトと思われるような案件を見聞きした場合に、市役所または児童相談センターまで通報しました。

(市役所)

- ・平成21年度に宮田地区に子育て支援センターを1か所新設し、利用者の利便性を図りました。
- ・市民等より通報があった場合、速やかに訪問し、その状況を確認するとともに、児童相談センターへ報告し、対応の方法を協議しました。その後引き続き見守りが必要な場合は、江南市要保護児童地域対策協議会の実務者会議で関係機関と情報を共有しました。
- ・児童虐待防止のため、啓発や見守り等を強化しましたが、世間の虐待への関心の高まりとともに通報件数も増え、結果的に虐待件数を減少させることができませんでした。

#### 【個別目標③】異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健康に育っています

(市民)

- ・身近な遊び場である児童館などを利用しました。
- ・各地区で活動するボランティア団体や子ども会活動に積極的に参加しました。

(市役所)

- ・児童館などで安全に遊ぶことができるよう施設整備をし、遊び場の拠点として充実させました。
- ・児童館合同行事の内容を見直し、多くの児童が参加できるようにしました。
- ・指定管理者制度を導入し、効率的な運営と児童館サービスの充実を図りました。

**【個別目標④】 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている**

(市 民)

- ・ 児童扶養手当の受給者は、手当の意義が自立するまでの一時的な支援であることを自覚し、早く自立した生活を送ることができるよう努力しました。
- ・ 母子家庭として自立して生活できるよう努力しなければならないことを自覚し、より安定した就職先を得るために、資格が取得できるよう努力しました。

(市役所)

- ・ より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、母子家庭の自立を促すため相談業務を行うとともに、就労教育訓練を受けた市民に対し、自立支援教育訓練給付金を支給しました。
- ・ 母子家庭が自立するための資格取得に係る就労教育訓練に対する自立支援教育訓練給付金事業を広報・啓発したが、事業に対する問合せは多いものの、申請は少人数でした。

**【個別目標⑤】 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けている**

(市 民)

- ・ 健康検診で指摘された障害児や発達に遅れがある幼児を持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けました。
- ・ 保育園での統合保育を希望する保護者は、保育園の入園申請をしました。

(市役所)

- ・ わかくさ園の施設を整備し、受入定員を増やすとともに、療育支援回数を増やしました。
- ・ 関係機関とも連携し、集団療育訓練、日常生活自立訓練等を行い、健全な育成を援助しました。
- ・ 保育園の障害児保育指定園を増やし、保護者の入園希望に添って統合保育しました。

**◆主な成果**

- ・ 第2子育て支援センターを開設し、利用者増加への対応及び利便性の向上を図ることができたこと。

**◆主な今後の課題**

- ・ 親が子どもを育てやすい環境整備を図り、子育て家庭に対する積極的な支援を行う必要があること。

## 柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保

### ◆主な取り組み

**〔個別目標①〕 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている**

(市 民)

- ・ 犬山公共職業安定所や市役所内の地域職業相談室などで職業相談を受けました。
- ・ 市内の障害者福祉サービス事業所で利用者が製品化した授産品を市役所で販売しました。

(市役所)

- ・ 犬山公共職業安定所等と連携し障害者雇用の促進・周知に努めました。
- ・ 企業に対して知的障害者に係る職親委託制度の採用を勧めました。
- ・ 就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を就労の場として支援しました。

**〔個別目標②〕 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている**

(市 民)

- ・ 地域での自立を目指し自立訓練や、グループホームなどの支援を受けました。
- ・ 地域での自立した生活を送るために、居宅介護（ホームヘルプ）や重度訪問介護等の支援を受けました。

(市役所)

- ・ 個々の状況に応じた居宅介護（ホームヘルプ）や重度訪問介護等の訪問系サービスを提供しました。
- ・ 生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めました。

### ◆主な成果

- ・ 聞き取りにより障害状況に応じた障害者福祉サービスの提供ができたこと。

### ◆主な今後の課題

- ・ 障害のある人が、必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実を図る必要があること。

## 柱 4 健康な生活の確保

### ◆主な取り組み

#### 【個別目標①】自らが疾病予防に取り組んでいる

(市民)

- ・健康診査・がん検診・歯科健康診査等を受診しました。
- ・体を普段から動かすように意識しました。
- ・健康に関する講座やイベント等に参加しました。

(市役所)

- ・健康診査・がん検診・歯科健康診査等を実施しました。
- ・生活習慣病予防に関する健康講座を開催しました。
- ・市民健康フェスティバルを開催しました。
- ・健康づくりのためのボランティア活動を展開していただくため「食生活改善グループ養成講座」を開催しました。

#### 【個別目標②】必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

(市民)

- ・健康維持のため予防接種（三種混合・BCG等）を医療機関等で受けました。
- ・犬の飼い主は動物病院等に出向き狂犬病予防注射を受けさせました。
- ・感染症予防に関する知識を得ることができました。

(市役所)

- ・予防接種を受ける必要性や効果・副反応等を説明した。定期、任意予防接種対象者に予診票を送付し接種勧奨をしました。また、MR予防接種をされていない方には、再度の接種勧奨をしました。
- ・犬の飼い主（登録済者）に個別通知し狂犬病予防注射の勧奨をしました。
- ・感染症に関する知識の普及に努めました。

#### 【個別目標③】母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

(市民)

- ・妊婦健診、産婦健診を医療機関等で受け妊娠期の健康管理に努めました。
- ・広報、HPで健診日を確認し、保健センターで実施している乳幼児健診を受けました。

(市役所)

- ・母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査受診の大切さや制度の内容を周知するとともに健診費用の助成をすることで経済的支援に努めました。
- ・乳幼児健診の対象ごとに広報やHPに受診日を知らせるとともに、健診案内を送付し、受診の勧奨をしました。

**〔個別目標④〕 市民が安心して医療を受けている**

(市民)

- ・病気やけがの程度により、軽度であれば、かかりつけ医や休日急病診療所を受診し、重度の場合は、第2次救急医療機関の江南厚生病院を受診しました。

(市役所)

- ・休日急病診療所を開設するとともに、市ホームページで尾北医師会及び尾北歯科医師会ホームページにリンクし各医療機関の診療科目、診療時間等の情報を提供しました。  
また、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金及び江南厚生病院建設費補助金等を交付し、医療機関等への支援を実施することで、医療体制の確保に努めました。
- ・休日急病診療所の診療時間を午後7時までに延長し、市民の休日診療の利便性を図りました。

**◆主な成果**

- ・三種混合、BCGなどの予防接種、妊婦健康診査が、高い接種率・受診率を確保できたこと。

**◆主な今後の課題**

- ・健康診査、各種がん検診の受診率の向上を図る必要があること。

## 柱 5 保険年金制度の健全な運営

### ◆主な取り組み

#### 【個別目標①】医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている

(市民)

- ・国民健康保険被保険者は、国民健康保険税を納付しました。
- ・国民健康保険被保険者は、国民健康保険の資格取得などの届出を行いました。
- ・40歳以上の国民健康保険被保険者は、特定健康診査及び特定保健指導を受診しました。
- ・福祉医療受給者は、福祉医療の助成に関する届出を行いました。
- ・後期高齢者医療の被保険者は、制度運営に必要な保険料を納付しました。
- ・後期高齢者医療の被保険者は、資格取得や医療費等の支給に関する届出を行いました。

(市役所)

- ・国民健康保険を健全に運営し、被保険者に対し療養の給付などを行いました。
- ・40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査及び特定保健指導を行いました。
- ・福祉医療の対象者に対し、医療費の助成を行いました。
- ・平成22年7月診療分から、子ども医療費の通院医療費助成対象を小学3年生までに拡大しました。また、精神障害者医療費の助成対象を拡大し、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者に対し、精神疾患以外の入通院医療費のうち2分の1を助成しました。
- ・後期高齢者医療被保険者の方の資格取得等の受付を行い、後期高齢者医療広域連合と連絡調整を行いました。
- ・医療保険の制度、届出、給付などに関する広報を行いました。

#### 【個別目標②】国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

(市民)

- ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行いました。
- ・国民年金の保険料を納付しました。

(市役所)

- ・国民年金の届出、納付その他制度に関する広報を行いました。
- ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求書などを受理し、日本年金機構に報告しました。
- ・国民年金の業務や制度に関する相談を行いました。

◆**主な成果**

- ・ 国民健康保険、後期高齢者医療などの福祉医療について、的確な給付の実施により、市民生活の不安軽減ができたこと。

◆**主な今後の課題**

- ・ 国民健康保険制度などの健全で安定した運営を維持するため、保険税の確保及び医療費の抑制を図る必要があること。

## 柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

### ◆主な取り組み

#### 【個別目標①】生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

(市民)

- ・自治会、自主防災会などの自治組織に参加し共助活動をしました。
- ・生活保護受給者が自立に向け、犬山公共職業安定所での就労活動等を行いました。
- ・民生委員は、地域における生活困窮者の状況を常に把握しました。

(市役所)

- ・貸付・見舞金など経済的支援や就労相談など生活の安定に向けて支援制度を整備しました。
- ・生活保護者の自立を促すため、家庭訪問し、生活環境や就労等のアドバイスを行いました。
- ・生活保護世帯が自立に向けての支援を公共職業安定所など関係機関との連携を図りました。
- ・離職者で住居を喪失する者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給し安心して就労活動が図れるようにしました。

#### 【個別目標②】社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

(市民)

- ・スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加しました。
- ・ボランティア団体、NPOなどの社会福祉団体がリーダーなど専門的人材を育成しました。
- ・ボランティア団体、NPOなどの社会福祉団体が活動内容をPRしました。

(市役所)

- ・各団体への財政的支援及び会議や活動の場に赴き、支援や助言を行いました。
- ・スポーツ大会などを行うための障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターへの支援を行いました。

#### 【個別目標③】生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

(市民)

- ・日常生活における困りごとについて、民生委員に相談しました。
- ・地域福祉活動に積極的に参加しました。

(市役所)

- ・研修会等を通じ民生委員の知識の向上を図りました。
- ・民生委員活動がより効果的な活動になるよう支援しました。

**〔個別目標④〕 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている**

(市 民)

- ・ 学習等供用施設を積極的に利用しました。

(市役所)

- ・ 施設の効率的及び効果的な運営を図りました。

**◆主な成果**

- ・ 民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができたこと。
- ・ 市民ニーズが的確に把握でき、必要な福祉サービスを受けることができたこと。

**◆主な今後の課題**

- ・ 生活困窮者などの自立に向けて、経済的支援や生活支援等を充実させ、関係機関との一層の連携を図る必要があること。
- ・ 「福祉から就労へ」をスローガンとし、積極的に関係機関と連携を図り自立に向けて支援すること。

## Ⅱ 健康、福祉分野

・